

リーディングDXスクール事業【実践事例】

能美市立辰口中央小学校（石川県）

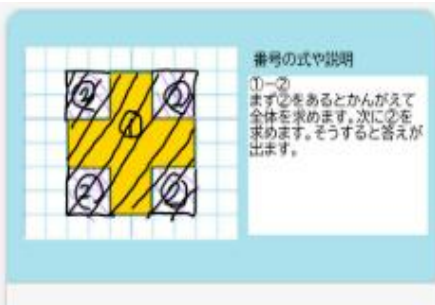
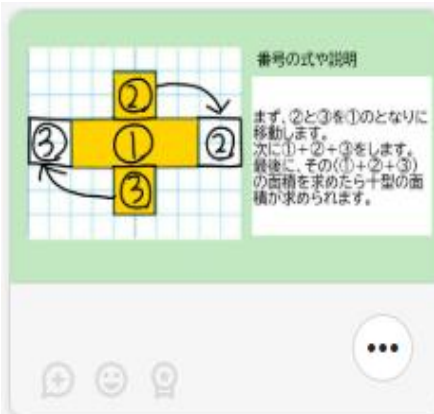
【取組内容①】「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実に向けたICTの効果的な活用

- ① 本時のねらいを達成し、つきたい力をつけるためにどんな場面でどのように端末を活用することが効果的かどうか
 ② 個別最適な学びと協働的な学びを効果的にするための端末の活用法

【実践例①】4年算数科

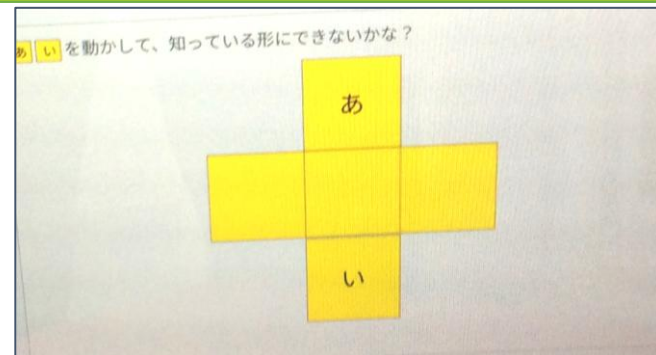
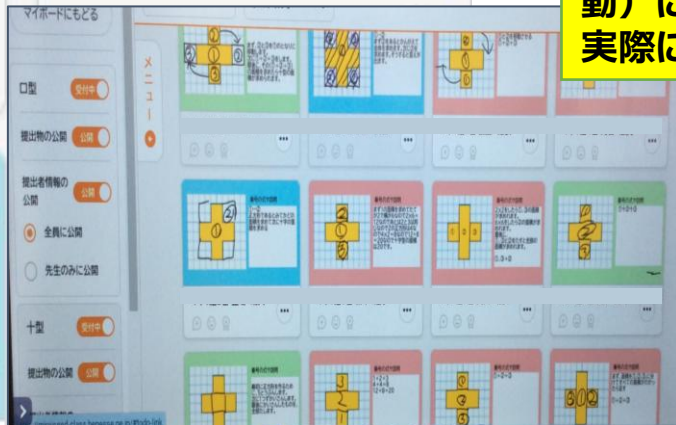
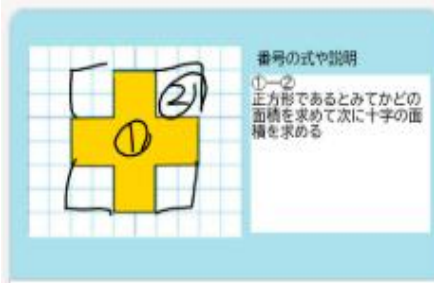
自力解決場面→家庭学習で全員が求積方法についての考えをもつ→求積方法ごとに色分けしたカードに考えを記入し、他者の考えを視覚で理解できるようにした

児童に委ねる場面→他者参照し、話し合う相手を選ぶ→異なる考えを聞く意欲→根拠をもとに友達と説明し合い（学び合う）理解



教師の適切な声かけ：交流する視点をもたせる。「どちらの考えがより早く求められるか」

児童に委ねる場面：十字型の図形の面積の求め方でよりよい方法のヒントカード用意→新しい考え（移動）に気付け学びが深まる→児童同士交流する中、実際に操作しながら説明し、より確かなものにした。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

能美市立辰口中央小学校（石川県）

【取組内容②】「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実に向けたICTの効果的な活用

【実践例②】2年算数科

自力解決場面→根拠となる部分に印とキーワードを明記→図形の弁別（シートの色分け）

児童に委ねる場面→他者参照し、話し合う相手を選ぶ→異なる考えを聞く意欲→根拠をもとに友達と説明し合い（学び合う）理解

教師の適切な声かけ：児童の様子を見取り困っていることを全体に問う。「何本の直線か」「囲まれているか」など

児童に委ねる場面→今一度個にもどって考えたり、他の相手と考えを交流して理解を深める（自己調整）

授業最後の適用題を解く場面：児童が格子状の点にそって書いた図形を撮影し、問題を作る→友達が作った問題を解き合い、多様な図形（多様な考え）に触れ、個の学びを深めた。

